

## より良い景観検討のためのカルテ（チェックシート）

記入年月日：令和3年6月1日

チェック担当課：道路整備課

事業の概要	
事業名	市道 1449 号橋梁補修事業（知名さくら橋）
事業個所・対象地	川西市一庫
事業期間	令和3年9月24日～令和4年8月31日
事業の対象となる 公共施設等	道路 橋梁 河川・水路 公園・緑地 公共建築物等
事業に含まれる要素 （個別指針より）	法面・斜面 擁壁 護岸 舗装 付属施設（防護柵、公共 サイン） 建築物
構想・計画段階（各事業共通）	
項目 1	景観形成の指針を把握する。
項目 2	共通指針（全体指針 A-1～A-5、B-1～B-5）の内、本事業で特に配慮する指針と具体的に配慮する事項を記入する。
（例） A-2	（例） 自然地形の改変が最小限となるように、現地調査を実施する。
A-2	周辺の自然環境との調和に配慮し、基準内のマンセル値に抑えるよう検討する。
B-3	景観におけるランドマークにふさわしいデザインとなるように検討する。

設計・施工段階 / 橋梁		
基本指針、共通指針、景観類型別指針を踏まえた「より良い景観検討のための景観配慮事項」への対応と、具体的に配慮・検討した内容を記入する。		
✓	より良い景観検討のための配慮事項	配慮・検討した内容
☑	<p>自然地形との調和に配慮し、違和感を与えないように検討するなど、自然景観の連続性を保全される計画を探る。</p> <p><b>【具体的配慮事項】</b> 視対象としてシンボル性を確保するか調和を優先するかの入念な検討</p>	<p>自然景観との調和や経年劣化に配慮しつつ、橋名が知明さくら橋であることから、シンボル性を確保するため基準値内におさまるさくら色を採用。</p>
	橋梁が視点場となる場合、眺望場所としての機能が確保できる計画を探る。	(事業対象外)
☑	高欄は、過剰な装飾や高彩度の色彩は避け、シンプルで落ち着いた色彩となるように配慮する。	高欄は、高彩度の色彩は避け、シンプルで落ち着いたダークブラウン系となるように配慮する。
	桁側面や橋脚は、周辺からの見え方に配慮し、軽やかで調和のとれたデザインを検討する。	(事業対象外)